

事務 事業名	コード1	42600	スポーツ振興事業	課	体育振興課				
	コード2	②	向太陽杯補助金(スポーツ交流事業補助金) ☐ 主要事業	所属班	体育振興班				
施策 体系	基本方針	4	心豊かな人と文化をはぐくむまちづくり	電話番号	64-1132	内線			
	施策	6	生涯スポーツの振興	予算科目	会計		款	項	目
	施策の展開	1	スポーツ・レクリエーション活動の推進	根拠法令 旭市補助金等交付規則 向太陽杯(パークゴルフ大会)実行委員会規約					
	基本事業	247	スポーツ交流の促進						

1 現状把握(Do)

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 ※何をどのようにする事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 20 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで ※全体像を記述→	・全国から参加者を募り、パークゴルフの全国規模の大会(向太陽杯)を、あさひパークゴルフ場で開催する。 ・大会は、2日間行われ、くろしおコース・しおさいコースの各コースを4人1組で午前・午後、1回ずつ周る。参加者は例年160名で、表彰は男子・女子共に1位～3位。その他、飛び賞・ホールインワン賞がある。参加賞として丸干しレシワシを配布。 【実施団体】旭市・向太陽杯実行委員会主催 【協力】(株)ちばてつやプロダクション 【実施時期】10月 【参加費】2日間 2,000円(昼食込) ・地元産品を使った昼食の提供(2日分)及び各賞副賞として地元産品を贈呈することで、旭市のPRも行う。 【業務の流れ】 向太陽杯開催のスケジュール 実行委員会会議の開催→参加者募集(ポスター・チラシの作製等)→イベント業者・出店者との協議、他課職員説明会等の開催→前日準備→当日大会運営

(2) トータルコスト

① 事業費の内訳(25年度の実績)	単位:千円
1.向太陽杯補助金	1,614
2.25年度まで 医療福祉・食・交流の郷づくり事業補助金(企画政策課)	0
3.26年度から スポーツ交流補助金(体育振興課)	0
4.	0
5.	0
【前年度比増減理由】	報償費等の支出増のため 【歳入】地域振興基金H25充当額:1,614千円
② 延べ業務時間の内訳(25年度の実績)	単位:時間
1人×8h×78日=624h(担当者事務)	
688h(担当者以外の担当課事務員)	
22人×1h×1日+22人×8h×2日=374h(他課職員)	合計 1,686h

事業費	単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)
1. 向太陽杯補助金	千円	0	1,433	1,614	2,223
	千円				
	千円				
	千円				
事業費計(A)	千円	0	1,433	1,614	2,223
うち一般財源	千円	0	0	1	0
正規職員従事人数	人	0.00	0.84	0.84	0.84
延べ業務時間	時間	0	1,686	1,686	1,686
人件費計(B)	千円	0	6,407	6,407	6,407
トータルコスト(A)+(B)	千円	0	7,840	8,021	8,630

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	⑤ 活動指標名	単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)
	25年度実績(25年度に行った主な活動) ・ポスター・チラシ・プログラムの作成 ・パークゴルフ新聞への広告掲載 ・市外大会参加者への宿泊先の紹介 ・大会中の昼食(旭市産の食材)等のおもてなし ・賞品や参加賞の贈呈等 26年度計画(26年度に計画している主な活動) ・ポスター・チラシ・プログラムの作成 ・パークゴルフ新聞への広告掲載 ・市外大会参加者への宿泊先の紹介 ・大会中の昼食(旭市産の食材)等のおもてなし ・賞品や参加賞の贈呈等	ア ・ポスターの作成数(チラシの作成数) イ ・プログラムの作成枚数 ウ ・パークゴルフ新聞広告掲載(新聞発行部数)	枚 枚 回数(枚)	0 0 0	600 300 2	600 300 2	600 300 2
目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	⑥ 対象指標名	単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)
	・パークゴルフ愛好者	ア ・市内大会参加者数 イ ・市外大会参加者数	人 人	0 0	53 107	40 120	30 130
上位目的	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標名(考え方)	単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)
	・市内外の参加者同士が交流することにより、相互理解と交流親睦を図る。 ・全国から集まった参加者に、旭市の特産品等を広くPRし、旭市の認知度と高感度を上げる。	ア 大会を通じて旭市内のパークゴルフ愛好者と交流を深めることができた市外参加者の割合 イ 大会会場で紹介した旭市の特産品等の種類	% 種類	— —	未把握 12	未把握 12	アンケート実施予定 12
上位目的	④ さらに、どんな上位目的に結び付けるのか	⑧ 上位成果指標名(考え方)	単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)
	・大会を通じて、継続的にパークゴルフに取り組み市民の健康増進や生きがいづくりを促進する。 ・スポーツ交流を通じて、旭市をPRし、旭市への来訪者を増やして観光振興を図る。	ア パークゴルフ場の利用者数 イ 観光客入込数	人 千人	— 909	29,891 1,277	26,290 1,310	— —

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 開始したきっかけは何か？どんな経緯で始まったか？	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか？開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったか？	③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
・平成20年度に完成した旭市パークゴルフ場の利用促進、旭市及び旭市の特産品のPRを行うため、また、市内の人々のパークゴルフによるスポーツ交流と市民の健康増進を促進するために開始した。	・大会開始当初から、参加募集人数は変わらない。 ・大会申込数(市外)は第1回大会(平成20年度)では157名だったのが、第5回大会(平成25年度)では179名と22名の増となっている。	・旭市産の食材を使った昼食等のおもてなしは、全国から集まった参加者から好評を得ている。

事務事業名	スポーツ振興事業 向太陽杯補助金	課名	体育振興課	班名	体育振興班
-------	---------------------	----	-------	----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価

目的 妥当性 評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の目的は市の施策体系に結びつくか？意図することが上位目的に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】	市内外の参加者が一緒にパークゴルフを楽しむことでスポーツ交流に繋がる。また、大会を通じて旭市産の食材を使った昼食等のおもてなしをすることで旭市及び旭市の特産品のPRを図っており、観光振興に繋がる。
	② 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☐ 適切である ⇒【理由】	・大会の市外参加者は、全国から募集しているが、市内参加者は市長杯の上位入賞者の参加が慣例化しており、見直し余地がある。意図については、参加者同士がパークゴルフを通じて交流を図ること、また、市外参加者に対して、おもてなしによって旭市をPRし、旭市の認知度と高感度を上げることであり、適切である。
	③ 行政関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して実施すべきか？	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☐ 妥当である ⇒【理由】	・主催は旭市・向太陽杯実行委員会(委員長:副市長、副委員長:パークゴルフ協会会長、委員:教育長、課長等)となっており、現在体育振興課が事務局となっているが、パークゴルフ協会など、実行委員会を構成する他の団体が中心となって運営を行うことで、市の関与の割合を削減することは考えられる。
	④ 成果の現状水準 あるべき水準や目標に達しているか？近隣市や類似団体と比較してどうか？	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☐ 妥当である ⇒【理由】	・昼食等でおもてなしを行っているが、おもてなしの相手や場所がパークゴルフ場内(施設内)だけに限定されており、PR効果は限定的である。県内でパークゴルフ大会等に補助金を交付している自治体は旭市の他に1団体しかなく、かつ、旭市は補助額が高額であるため、費用対効果を見ると見直しの余地はある。
	⑤ 成果の向上余地 次年度以降の成果向上が期待できるか？事務事業を取り巻く環境変化等を考慮するかどうか？成果の向上余地はどの程度あるか？	☐ 活動量を増やせば成果は向上する ⇒【理由】 ☒ 活動量を増やさなくても、やり方を工夫することで成果は向上する ⇒【理由】 ☐ 活動量を増やしただけ、活動を工夫しただけでも、今以上成果は向上しない ⇒【理由】	・宿泊組合で行っている「フグ鍋まつり(11月～12月)」等と結びつけて大会を開催するによって、旭市及び旭市の特産品のPR効果をより高められると考えられる。
有効性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業の他(民間・国県を含む)に方法があるか？ ↓ 他に手段がある場合 (1)具体的にどのような事務事業か？ (2)類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☒ 他に手段がある (1) 事務事業名: (市等が行う観光事業) (2) ☐ 統廃合ができる ⇒【理由】 ☒ 連携ができる ⇒【理由】 ☐ 既に統廃合・連携している ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	市等が行う観光事業と連携することで、旭市及び旭市の特産品の一層のPRを行うことができる。
	⑦ 事業費の削減余地(表面トータルコストの事業費部分) 事業費を削減できないか？(経費の精査、過剰仕様の適正化、回数削減、住民の協力、アウトソーシングなど)	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】	・市からの補助金と、大会参加費で本大会を運営しているが、事業費に対する参加者一人当たりの参加費が少ないため、参加費の見直し余地がある。また、支出面では、ポスター・チラシの作成や新聞広告掲載など印刷製本費等で見直しの余地がある。
効率性 評価	⑧ 人件費の削減余地(表面トータルコストの人件費部分) やり方の工夫(業務プロセスの改善など)や臨時職員の活用・委託により、正規職員の延べ業務時間を削減できないか？	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】	大会運営及び事務(宿泊先の案内・おもてなし等)を体育振興課で行っているが、実行委員会の組織を見直し、宿泊案内やおもてなし等を実行委員会内で分担し対応するなど、各委員(各課)で特性を活かした方が事務が効率的に進む。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☐ 公平・公正である ⇒【理由】	・他のスポーツイベントと比べて、参加者一人当たりの補助金額が多く、参加費について見直し余地がある。 【参加者一人当たりの補助金額】向太陽杯パークゴルフ大会10,091円、市長杯パークゴルフ大会741円、旭市民体育祭1,004円、飯岡しおさいマラソン1,420円、旭市民駅伝1,938円、ママさんバレー2,000円

3 評価(Check2)担当課長による評価結果と総括

(1)1次評価者としての評価結果			(2)全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性	☐ 適切 ☒ 見直し余地あり		本事業は、パークゴルフを通じた市内の人々のスポーツ交流と市外からの参加者に旭市及び旭市の特産品のPRを行うことを主な目的として実施してきたが、PRについては効果が限定的であるため、スポーツ交流に目的を絞った事業として方向性の見直しを検討する必要がある。また、事業費に対する参加者一人当たりの参加費が少なく、参加者一人当たりの補助金額が多いため、参加費の見直し及び印刷製本費等の事業費削減も検討の余地がある。
② 有効性	☐ 適切 ☒ 見直し余地あり		
③ 効率性	☐ 適切 ☒ 見直し余地あり		
④ 公平性	☐ 適切 ☒ 見直し余地あり		

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(Plan)

(1)今後の事業の方向性(複数選択可) ※2～3年後を目処にした方向性			(3)改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																								
☒ 目的再設定	☐ 行政関与の見直し		<table border="1"><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持				低下			
									コスト																		
							削減	維持	増加																		
成果	向上	○																									
	維持																										
	低下																										
☒ 事業のやり方改善による成果向上	☒ 事業統廃合・連携(関連事業:市等が行う観光事業)																										
☒ 事業のやり方改善による事業費削減	☒ 事業のやり方改善による延べ業務時間削減																										
☐ 受益機会の適正化	☒ 費用負担の適正化																										
☐ 廃止・休止																											
(2)改革改善案について ※いつまでに、なにを、どうするのか？																											
いつまでに		なにを、どうするのか？																									
①平成26年度		①スポーツ交流を主な目的として、実行委員会規約等の見直しを検討。																									
②、③平成27年度		②ポスター・チラシの作成枚数の削減や新聞広告掲載の中止など、印刷製本費の見直しを行う。③参加費の見直しを検討。																									
(4)改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																											
①:第1回目から、旭市及び旭市の特産品のPRを主な目的として本大会を開催しており、「おもてなし」が、大会参加者に浸透しており、スポーツ交流を主な目的とした場合に、実行委員会での反発が想定されるため、スポーツ交流を主な目的として規約等の見直しを検討するが、大会に浸透している「おもてなし」部分については、無くすのではなく、あくまでスポーツ交流を行う上での「おもてなし」への変更とし、理解を得る。②:ポスター・チラシの作製枚数を削減した場合に、新規の募集者が集まるかが課題。他市町村パークゴルフ協会への積極的なPRが必要。③:参加費を上げることで、「おもてなし」感が低下することが想定されるが、アンケート等を実施し、改善箇所等の意見があれば改善することで、参加者の理解を得る。																											